それに日本政府は又、小作人は勞働者でなく、獨立の企業者だと云つて、資本家並に取扱はうとしてゐる。國際勞働會議の規定を小作人に適用する事になれば、地主共が困るものだから、それで政府は小作人を勞働者といふ範圍に入れないで、地主を保護しようとしてゐるのである。

そこで日本の小作農業者は國際會議で多少有利の規定が出來ても其の利益にあづかる事が出來ないし、其他の農業勞働者は政府の勝手に選任した代表者に代表されて、自分達の本統の苦痛や不平を世界に訴へる機會を失ふわけである。

日本の農業勞働者がこんなふうに政府から踏みつけられるのは、畢竟、農業勞働者に自覺がなく、團結がなく、大いに權利を要求して政府に抗議するだけの力ては、全く諸君と同一の立場に居る者である。我々は諸君を他人とは思つてゐない。兄弟だと思つてゐる。同一の立場にゐる兄弟が別々になつて居ては仕樣がない。我々は今後いつでも諸君と一緒に、共同の敵と戰ふ積りでゐる。諸君もどうか我々を兄弟と思つて、我々と相談し、我々と提携して、一緒に戰鬪する積りになつて呉れ。

諸君、將來の新社會は諸君と我々との手で作りあげねばならぬ。我々兄弟が皆んな手を携へて立つ時其處に改造されたる社會が現出する。地主も資本家も皆な其時には屁こたれてしまふのだ。諸君も勞働者だ、我々も勞働者だ、農業勞働者と工業勞働者と、田園の勞働者と都會の勞働者と、皆んな一緒になつて飽くまで奮鬪しやうではないか。

勞働組合同盟會

加盟團體

- 日本機械技工組合
- 汎織紡勞働組合會
- 啓明會
- 工友會
- 日本印刷工組合信友會
- 大進會
- 日本鑛夫總同盟
- 東京電氣及機械鐵工組合
- 日本交通勞働組合
- 正進會
- 東京鐵工組合
- 愛友會

關西勞働組合聯合會

加盟團體

- 大阪印刷工組合
- 大阪洋服裁縫組合同志會
- 大阪刷子工組合
- 大阪仲仕人夫勞働組合
- 向上會
- 關西鐵工組合
- 電業員組合
- 友愛會
- 商業使用人組合新生會
- 伸銅工組合新進會
- 純洋服職工組合
- 大阪俥夫聯盟會
- 關西屋外勞働誠友會
- 大日本美術友禪工組合

注意

此の宣言は本年三月十二日の決定に係る。今之を公表するに當り、その歷史を尊重して加盟諸團體の署名を特に決定當時の儘とす。

大正十年八月三日